こんにちは

2016年 創刊号

独立行政法人 地域医療機能推進機構
高知西病院
〒780-8040　高知県高知市神田317-12
TEL:088-843-1501（代表）FAX:088-840-1096
http://kochi.jcho.go.jp/
Eメール main@kochi.jcho.go.jp

健康管理センター
TEL:088-843-8220　FAX:088-843-8222

発行者　山田 光俊

CONTENTS

病院長 あいさつ ……2
地域包括ケアのめざすもの ……3
部署紹介 …… 4～7
医師紹介 ……7
外来診察予定表 ……8

高知西病院－理念－

一、人間愛に満ちた患者様中心の医療

一、地域住民との連係を深め、地域のニーズに即した医療

一、保健予防活動を積極的に行い、地域住民の健康増進に貢献する医療

病院長 あいさつ
広報誌【こなつ】創刊にあたり

院長　山田光俊

独立行政法人地域医療機能推進機構（Japan Community Health care Organization：JCHO）高知西病院がスタートしてはや３年目になりました。

JCHOの理念は、『我ら全国ネットのJCHOは、地域の住民、行政、関係機関と連携し地域医療の改革を進め、安心して暮らせる地域づくりに貢献します』であります。そして使命の一つとして、超高齢社会における地域住民の多様なニーズに応え、地域住民の生活を支える事でありまして、職員一人一人が意識しておく必要があります。

そんな中、思い浮かべる古典があります。鴨長明が方丈記の冒頭で『ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず。淀みに浮かぶうたかたは、かつ消えかつ結びて、久しくとどまりたるためしなし』とかかれ、流れる水は一見同じだが日々変わっているということをのべています。当院は、厚生年金高知リハビリテーション病院からJCHO高知西病院となり地域医療を粛々と行っていることは変わりませんが、JCHO病院となったとはいえ、まだまだ、病院・診療所がひしめく高知市内においては、その名が浸透したとはいえませんし、社会情勢のかぜを受けて劇的に変わったとも思いません。

高知の高齢化は大都会より１０年以上先に進んでおり、患者層も虚弱な高齢者いわゆるフレイル、認知症などをあわせもつ患者さんが増えてきています。それに加え、家庭の介護力、経済力の低さが問題となる状況も多くなっています。そのため、総論的に地域包括ケアと唱えても何の解決にもなりませんし、医師は治療を、看護師は看護等のみ行っていれば良いという時代ではなく、そのほか専門職、コメディカル一人一人が、自分のプロフェッショナルな医療技術を活かすのはもちろん、院内の専門職が一体となる多職種協働がなければ、患者さんを地域に帰していけません。職場では、世代交代が徐々に起こってきて若い力の息吹を感じていますが、医療技術を継承しつつ新しい工夫もどんどん取りいれてほしいと思います。

病院業務は、いくらパソコン等でIT化されても、対応しきれず、人間の力が発揮されなければいけない職場です。運転手の不注意、病気等で大事故が報道されて、機械による自動運転が期待はされていますが、それだけでは解決出来ないと思います。

反面、人間関係というのは難しいです、「惻隠の情」という、相手の立場になって考えるという気働きをするということが大事と思います。

【９転び10起き】というフレーズが、NHKの朝ドラ　「朝が来た」のモデルの白岡あさの言葉といわれていますが、この世の中は、失敗続きでもこのように最後に起き上がれればもうけものと思わなければと思っている毎日です。

院内外の皆様、ご協力よろしくお願いします。

地域包括ケアのめざすもの

副院長　梶谷　充

2015年4月に地域包括ケア推進室が当院に開設されました。推進室長の梶谷です。

当初JCHO本部において研修会が開催され目指す方向性は認識しましたが、現実にはどうしたものか？と焦燥感にかられたのを覚えております。その後、勉強会などに参加しているうちに地域包括ケアとして当院の進むべき道が見えてきたように思います。

当院は2000年から回復期病棟を開設しております。主に脳血管障害、廃用症候群を中心とした脳血管リハビリと脊髄損傷、大腿骨頚部骨折、脊椎圧迫骨折、人工関節等を対象とした運動器リハビリを中心に患者さんに医療を提供してまいりました。公的基幹病院として回復期病棟を有し、多くの医療機関から積極的な受けいれをおこなうことが必要と考えております。さらに2025年をめざして療養型病床の改編もあいまって、当院の使命が大きくなると思っております。一方、回復期病棟を終えたのちの在宅復帰に対する支援が急務となるでしょう。自宅退院はさまざまな意味合いが含まれます。家族の介護負担、経済的負担、高次脳機能障害・認知症対策、かかりつけ医との連携など多くの課題もあるなか、自宅に帰りたいと願う患者さんの気持ち、その家族の愛情を最大限に汲みあげなければなりません。在宅復帰率を高めるため多職種のチーム医療を早期から投入し、訪問看護、居宅介護支援センターとの連携を今以上の顔の見える、声をかけ助け合える関係を築きあげることが重要と考えております。地域住民に寄り添った医療の提供を、当院が中心となって行う所存でございます。今後ともよろしくお願いいたします。

ーおつかれ様でしたー

井関　恒

多くの患者さんに慕われてきた井関先生、今年3月定年となりましたが、私たちの願いを叶えて頂き、定年後も引き続き当院で勤務されています。送別会ではご家族からプレゼントされた新調のスーツを身にまとい、長年を振り返り、感慨深い思いを言葉にされました。最後に「これからは管理者としてではなく、外科医として勤めます。繊細で傷つきやすいので、皆さんどうか優しくお願いします」とウィットに富んだ挨拶で会場の笑いを誘っていました。少しはゆっくりされたかったと思いますが、変わらぬ先生の姿を見て安堵された患者さんも多いのではないでしょうか…

これからも西病院を宜しくお願い致します!!

部署紹介

●医　局●

内科・外科・整形外科・透析科の
専門性の高い医療の提供と救急医療、
リハビリテーション医療において
急性期、回復期まで幅広い視点で
地域医療に貢献したいと考えています。

●リハビリテーション科　診療部●

当診療部は、理学療法士21名・作業療法士13名・言語聴覚士5名の充実した体制でスタッフが診療に当たり、患者様を中心に明るい雰囲気で365日のリハビリを行っています。対象となる患者様は、脳卒中などを中心とした脳血管障害の方や、股・膝関節症の人工関節置換術後、手・足・脊柱の骨折による運動器障害の方々となっています。

私たちスタッフが一丸となって専門的かつ集中的なリハビリテーションを提供させて頂きます。

●医療福祉相談室・地域医療連携室●

医療ソーシャルワーカーと看護師が、疾病や障害に伴う生活上の様々な問題（医療費や生活費の心配、入院・手術・病気についての不安、利用できる制度、退院してからの生活への不安等）に対して、ご相談をお受けし、問題解決のお手伝いをします。

また、地域や他の医療機関との連携の窓口として、入院～退院まで様々なご相談に応じています。

●居宅介護支援センター●

介護が必要になったときご相談下さい。できるだけ住み慣れた居宅において自立した日常生活が送れるよう必要な居宅サービス計画を一緒に考え作成すると共に、サービス事業者等の連絡調整を行います。

●訪問看護室●

高知西病院をかかりつけ医としていただいている方を対象に訪問看護を行っています。通院が困難な方や、入退院を繰り返しているなどの方はご相談下さい。

● 健診センター ●

健康管理センターは、個人や事業所で働く方々の健康診断や保健指導を行っています。病気の予防・早期発見、健康の維持・増進のために健康診断をうけることをおすすめします。

センター長・保健師６名、事務員常勤3名

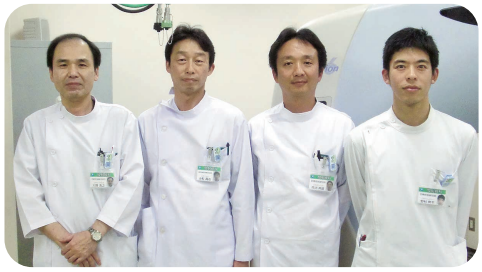
● 事務部門 ●

事務部門は仕事内容により３部門に分かれています。「総務企画」は人事・給与・福利厚生等、「経理」は予算・決算・現金預金の出納及び管理等、「医事」は診療費の算定・審査・請求等を主に行っています。

● 放射線部 ●

技師長を中心に診療放射線技師４名、事務１名の５名のスタッフで業務を行っています。

業務内容は、病院部門と健診部門を掛け持ちで診断価値のある画像を提供するため、日々努力しています。



● 臨床検査科診療部 ●

生化学、血液、細菌検査、検尿、心電図など6名の臨床検査技師が掛持ちしながら、病院業務に健診業務にと奔走しています。皆でカバーしあい、迅速な結果報告と精度の高い臨床検査を目指して日々努めています。

● 薬剤科 ●

当院はすべての診療科で「院外処方箋」を患者様にお渡し、院外にある「保険薬局」でお薬を受け取っていただいています。（ただし、医師が必要と認めた方は院内でお渡しします）そのため、薬剤部は院内入院患者様を中心とした業務に携わっております。

現在、薬剤師５名で調剤・注射薬払い出し・医薬品の管理・薬剤管理指導業務などの業務を行うことにより、院内で使われるすべてのお薬に関して安全かつ効果的に使われるよう一同業務に励んでおります。

部署紹介

● 手術・中央材料室 ●

手術に際して、担当看護師が術前訪問を行い、患者さまが安心して手術に臨めるよう、緊張や不安の軽減に努めています。そして手術中は、患者さまに寄り添い、また代弁者となれるような温かい看護を心がけています。

● 栄養管理室 ●

外来、入院の患者様の栄養相談から直営ならではの真心込めた病院給食を管理栄養士３名・調理師１１名のスタッフで患者様の栄養管理サービスを安心・安全を第１に提供させて頂きます。

● ３階病棟 ●

主に整形外科と内科の混合病棟です。

手術を受けられる患者様、術後のリハビリテーションをされる患者様に優しい看護を、と24名のスタッフが日々熱意をもって努めております。

● ４階　回復期リハビリテーション病棟 ●

脳血管疾患や骨折等の患者様に対して、寝たきりの防止と家庭復帰を目的とし、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語療法士等総勢34名のスタッフが共同でリハビリテーションを集中的に行っている病棟です。スタッフ一同、患者様と一緒にADL向上を目指し頑張っています。

● 5階病棟 ●

5階病棟は外科・内科・透析科の混合病棟です。22名のスタッフで看護にあたっています。手術や化学療法を受ける患者さまや透析治療を受けられている患者さまが多く、安全で安楽な療養生活が送れるように日々心がけています。

部署紹介

● 透析室 ●

当院の透析室はベッド数30床、平均100名前後の患者様が透析を行っています。スタッフは看護師21名、臨床工学技士7名で、患者様にとって安全な透析看護を提供することを目標としています。また、南海地震を視野にいれた避難訓練にも力をいれています。

● 外来 ●

外来は、内科・外科・整形外科・透析・泌尿器科（週1回）の診療科と、内視鏡室があります。

昨年から、救急告示病院となりました。

患者様に安心して受診して頂けるよう、笑顔と思いやりの態度を日々心がけています。

● 医師紹介 ●

医師名	所属学会等　(認定医・専門医・指導医等)
山田　光俊	日本内科学会(総合内科専門医)　日本循環器学会(専門医)
	日本老年医学会(専門医)　日本リハビリテーション医学会
	日本プライマリ･ケア連合学会(認定医･認定指導医)　日本心臓病学会
梶谷　　充	日本整形外科学会(専門医・研修指導者)
	日本整形外科学会(スポーツ医･リウマチ医)　日本リウマチ学会 (専門医)
	日本人工関節学会　日本リハビリテーション医学会
	日本救急医学会　日本義肢装具学会
川﨑　博之	日本外科学会(専門医)　日本消化器病学会(専門医)
	日本医師会認定産業医
河合　秀二	日本外科学会(認定医・専門医・指導医)　日本消化器内視鏡学会(専門医)
	日本消化器外科学会(認定医)　日本プライマリ･ケア連合学会(認定医)
	麻酔科標榜医
橋本　豊年	日本リハビリテーション医学会(認定医・専門医)
	日本内科学会　日本循環器学会
	日本老年医学会　日本超音波医学会
秋澤　雅史	日本内科学会 (専門医)　日本循環器学会 (専門医)
	日本老年医学会(専門医)　日本プライマリ・ケア連合学会
川井　智子	日本内科学会　日本消化器内視鏡学会　日本人間ドック学会 (認定医)
	日本ヘリコバクター学会　日本医師会認定産業医
岡林　恵子	日本内科学会(認定医)　日本循環器学会(専門医)　日本老年医学会
	日本プライマリ･ケア連合学会(認定医･指導医)　日本心エコー図学会
篠原　　静	日本内科学会(認定医)
文　　浩光	日本整形外科学会(専門医)

外来予定表

平成28年9月1日現在

診療科			月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
内科外来	午前	一診	山　田	山　田	山　田	山　田	秋　澤
		二診	秋　澤	橋　本	橋　本	篠　原	篠　原
		三診	岡　林				岡　林
	午後	一診	橋　本	秋　澤	秋　澤	秋　澤	橋　本
		二診		岡　林	岡　林		

診療科			月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
外科外来	午前	一診	西　山	井　関	川　﨑	河　合	河　合
		二診	川　井 （内視鏡）	川　井 （内視鏡）	川　﨑 （内視鏡）	河　合 （内視鏡）	河　合 （内視鏡）
	午後			手　術		手　術	

診療科			月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
整形外科外来	午前	一診	安　田	梶　谷	梶　谷	安　田	梶　谷
		二診	梶谷・文		安　田	文	
	午後		手　術		手　術		手　術

診療科			月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
泌尿器外来	午前					香　西	
	午後					香　西	

※診察日・医師の変更のお知らせ　9/1～木曜日に変更 医師は香西医師となります

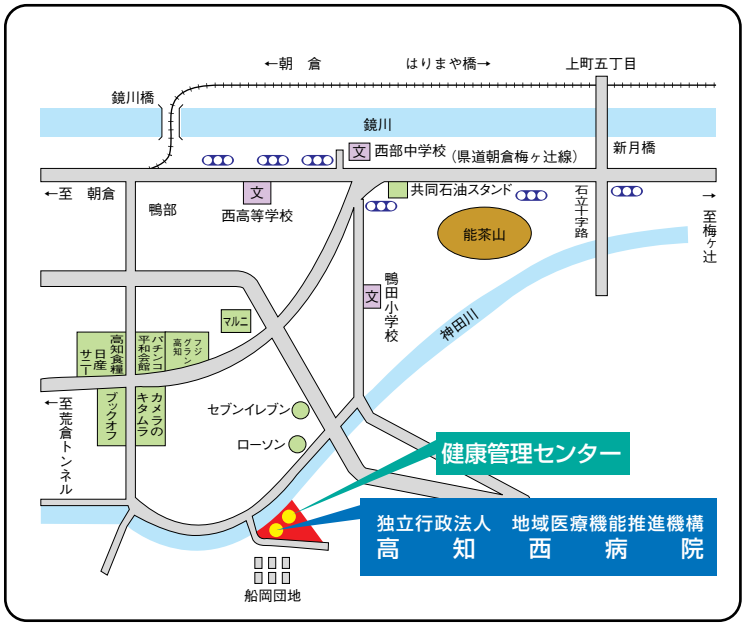
健康管理センター

各種健康診断を、平日のみ予約制で実施　（土日祝日休み）

ご予約、お問い合わせは、9時～17時の間に　☎088－843－8220　までお願い致します

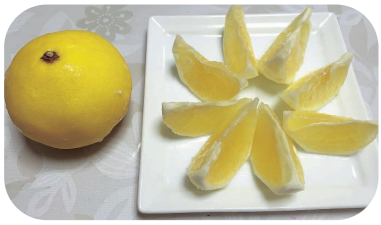
■交通のご案内

- ●とさでん交通バス「船岡南団地行」で「船岡団地前」下車すぐ
- ●はりまや橋から車で15分
- ●JR高知駅から車で20分
- ●JR朝倉・旭駅から車で10分



概　　要

- ●診療科目：内科、外科、整形外科、消化器外科
  泌尿器科、リハビリテーション科
  麻酔科、人工透析血管外科
- ●受付時間：午前8時30分～11時30分
  午後1時00分～4時30分
- ●休 診 日：土曜日、日曜日、祝祭日、
  年末年始（12月29日～1月3日）
- ●面会時間：午後1時～7時

ー編集後記ー

当院は、40年にわたり地域の皆様にご支援頂いたお陰で、今日を迎えております。平成26年に病院名は変わりましたが、丹精込めて長年育てられた土佐の特産小夏のように味わい深く、さらに爽やかさとフレッシュ感を持ち合わせた清涼感あふれた病院にしたいという思いから、当院の情報誌の名前を「こなつ」に決定し、創刊となりました。今後とも、宜しくお願い致します。